



2025年度JICA横浜 教師海外研修参加者作成



## 多文化共生ワーク

# 私の願いごと

### ●ねらい(この教材を通して、気づいてほしいこと)

「相手を知ろうとすると、面白い!」

### ●使い方例

#### 1.七夕の願い事を通して、他者の背景を想像する

◎「写真から気づくことをあげてみよう」

▲「書いた人はどこに住んでいるんだろう」「日本に行きたいって書いてある、日本じゃないのかな?」

◎「海さんはどんな人だろう?どうして日本に行きたいのかな?海さんの物語(背景)を想像してみよう」

#### 【予想される回答例】

発展しているから/アニメが好きだから/家族が日本に住んでいるから/安全だから/稼げるから/  
もともと日本にいたから/親の都合

#### 2.相手の背景について考える

「1」の活動から発展させる。身の回りの方々にもそれぞれの物語(背景)があることを考えさせる。

例: クラスメイト、自分とは違う文化の人、現在他国へ移住する人々、様々な国の文化やそれを大切にしている人々

### ●キーワード

国際理解/国際協力/移民/日系人/外国人/文化/他者理解/自己理解/コミュニケーション

### ●使用場面

あらゆる学年・場面で使用することができます。興味関心を引き出し、意見共有も容易にできるので、特に導入におすすめのワークです。例: 学級づくり、授業開き、アイスブレイク、各教科等

※JICA横浜ホームページにて、このワークを使った各校種別の指導案を提示しています。ご活用ください。

本ワークの写真【撮影: 2025年度JICA横浜教師海外研修参加者】

南米パラグアイの日本語学校で撮影した写真です。  
南米には、日本にルーツを持つ多くの日系人が暮らし、日本語や日本の文化を次の世代に伝えています。



## JICA横浜 教師海外研修とは

独立行政法人国際協力機構(JICA)が主催する、国内事前研修、海外での現地研修、国内事後研修で構成される国際理解教育・開発教育実践のための研修プログラムです。

訪問する国の歴史、現状、人々の生活、国際協力などについて学び、国際理解教育・開発教育の実践者育成と推進を目的としています。

## 2025年度研修概要

対象教員: 神奈川県および山梨県の教員

参加者: 特別支援学校教員1名、小学校教員2名、中学校教員5名、高等学校教員2名  
(合計10名)

渡航国: パラグアイ共和国

研修期間: 2025年6月~2026年3月(海外研修は7/25~8/8)

研修回数: 渡航前国内研修3回、現地研修2週間、帰国後国内研修3回

研修テーマ: 「多文化共生・移民」

## 研修参加者からのメッセージ

私たちは、この研修を通して、共生を考える一歩目は「知ろうとする姿勢」ではないかと思うようになりました。他者とよりよく関わっていくには、相手の立場、状況、背景、物語に関心を持つことが大切です。「知る面白さに気づいて、他者への想像力を広げてもらいたい」そんな願いを込めてこのワークを作成しました。

現地に行っていない方でも、校種を問わずどなたでも使用することができます。

ホームルーム、朝の会、または授業でご活用ください。このワークの他にも、授業の様子をまとめた記事、私たちの研修報告書、研修での学びを短くまとめた動画を作成しました。

QRコードから  
ご覧ください!



独立行政法人国際協力機構 横浜センター(JICA横浜)

〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1

TEL:045-663-3253 / FAX:045-663-3265

Email:yictpp@jica.ca.jp / <https://www.jica.go.jp/yokohama>

痕(癒)看

...

海甲

匠へ...  
...

...

...

...